

記載例

増額申請（出生等により支給対象児童が増えたとき）

児童手当 額改定認定請求書・変更届・受給事由消滅届

(宛先) 富山市長

右のいずれかに○をつけてください。		① 増額申請		2 減額申請	3 受給事由消滅届	提出年月日	*受付確認年月日		
		4 銀行変更届		5 その他( )		令和 年 月 日	令和 年 月 日		
受給者	(ふりがな) 氏名	とやま 一郎 <b>富山 一郎</b>			性別	男・女	生年月日	昭和 〇〇年 〇月 〇日 平成 〇〇年 〇月 〇日	
	住所	〒930-8510 <b>富山市新桜町7番38号</b>			受給者の職業	① 被用者 2. 被用者等でない者 3. 公務員			
	支払希望金融機関 (受給者名義)	☐ 公金受取口座を利用する ☐ 振込口座を指定する			1. 普通 2. 当座 3. 口座番号 4. 貯蓄	*銀行コード *支店コード			
増額又は減額の原因となる児童 (18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者)									
	(ふりがな) 氏名	続柄	生年月日	同居・別居の別	海外留学をしている場合の出国年月	住所 (別居の場合)	監護の有無	生計関係	*児童との関係
	とやま さぶろう <b>富山 三郎</b>	子	平成 〇〇年 〇月 〇日 令和 〇〇年 〇月 〇日	同居			有	同一	・未成年後見人指定者 ・同居父母 ・未成年後見人指定者之母
<p>「監護の有無」</p> <p>有 : 日常生活上の世話等をしている</p> <p>無 : 世話等を全くしていない</p> <p>「生計関係」</p> <p>同一 : 親子関係にあり、児童と生計を同一にしている</p> <p>維持 : 親子ではないが、児童の生計を維持 (生活費の半分以上を支出) している</p>									
	増額した理由	① 出生 ② その他 ( )							
	消滅又は減額した理由	1 受給者が他市区町村又は国外に転出した (転出先住所 ) 2 死亡した 3 監護しなくなった 4 生計を同じくしなくなった 5 生計を維持しなくなった 6 児童が日本国内に住所を有しなくなった (留学を除く) 7 未成年後見人でなくなった 8 児童の兄弟等を監護相当の世話をしなくなった 9 児童の兄弟等の生計費の負担をしなくなった 10 父母指定者でなくなった (父母等の帰国) 11 児童自立生活援助を受け、里親等に委託され、又は児童福祉に入所若しくは入院するに至った 12 受給者と児童が別居した (単身赴任等を除く) 13 その他 ( )							
	事由の発生した年月日	令和 〇 年 〇〇 月 〇〇 日							
※審査	認定・却下 (備考)	認定・改定・却下年月日	改定年月		手当月額				
		令和 年 月 日	令和 年 月	令和 年 月	3子以降分 (月額30,000円)	円	3才未満分 (月額15,000円)	円	
					上記以外分 (月額10,000円)	円		円	
					計	円		円	

受給者の職業

- 被用者  
厚生年金加入者  
(会社員など)
- 被用者等でない者  
国民年金加入者  
(自営業者、厚生年金に加入していないパート、無職など)
- 公務員

「監護の有無」

有 : 日常生活上の世話等をしている

無 : 世話等を全くしていない

「生計関係」

同一 : 親子関係にあり、児童と生計を同一にしている

維持 : 親子ではないが、児童の生計を維持 (生活費の半分以上を支出) している

◎※の欄は、記入しないでください。字は、楷書 (かいしよ) ではっきり書いてください。  
◎児童手当は、市に寄附することができます。希望される場合は、別途申出書が必要です。

地区センター